

令和2年4月1日

ゆりのき保育所入所者保護者 各位

筑波大学総務・人事担当副学長

稲垣 敏之

ゆりのき保育所における新型コロナウイルス感染症への対応について（依頼）

国及び大学等における新型コロナウイルス感染症への対応指針に基づき、ゆりのき保育所では下記の通り対応することといたします。保護者の皆様におかれましては、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、今後の状況の変化により、他の措置を講ずることとなった場合には、改めてお知らせいたします。

記

1. ゆりのき保育所の開所について

現時点では、ゆりのき保育所を閉所する予定はありません。保育所の職員については、発熱や呼吸器症状が認められる場合には出勤を行わないことを徹底するとともに、感染症の拡大防止に留意しながら保育を行います。

ただし、保育所関係者に新型コロナウイルス感染症の発症者が生じた場合等には、臨時閉所を行う可能性がありますので、ご承知おきください。

2. 入所児及び保護者が感染した（疑いを含む）場合における自宅待機について

次のいずれかに該当する場合には、自宅待機していただきます。

- ①入所児が感染した場合、医師の診断により必要とする期間
- ②入所児又は保護者が海外から帰国後2週間の期間
- ③同居家族等が検疫強化対象地域から帰国後2週間の期間

※検疫強化対象地域については、厚生労働省HP水際対策の抜本的強化に関するQ&Aをご確認ください。

- ④入所児又は保護者が濃厚接触者に特定された場合、感染者と最後に濃厚接触をした日から起算して2週間の期間

上記の場合以外でも、状況に応じて、保育所の利用を控えていただきますようお願いすることがありますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。また、自宅待機の対象については、今後の状況の変化により変動が生じることがありますので、あらかじめご承知おきください。なお、自宅待機となった場合は、国立大学法人筑波大学保育施設運営細則第10条第4項の規定に基づき、その日数を基礎として日割りによって計算した額に相当す

る額を月極め保育料から差し引きます。

3. 体調不良時の対応について

入所児に37.5度以上の発熱、咳等の呼吸器症状が認められる場合には、保育所ではお預かりできません。また、解熱後も24時間以上が経過し、呼吸器症状が改善傾向となるまでは同様の対応とさせていただきます。

なお、「風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く場合（解熱剤を飲み続けなければならない場合も同様です）」、「強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある場合」は、最寄りの保健所等に設置の「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

以上

(担当)

総務部組織・職員課（労務）猪野、森

電話：029-853-2125

e-mail：shokuin-roumu@un.tsukuba.ac.jp